

『藤農便り』 第 19 号

宮本茶園 ヘルミッシヨネルズ宮本

夏の終わりに腰痛と痛風を患い、医者通いをしました。腰痛は初めてですが、痛風は毎日ビールを飲んでいた 40 代半ばに発症した事があります。佐藤先輩から「足指の痛さは半端でないぞ」と脅かされていましたが、発作時は全く歩けない苦しさでした。佐藤さんが「炭粉を飲むと尿酸を体外に排出してくれる」と教えてくれたので、家で晩酌を止め毎朝スプーン 1 杯の炭粉を飲む事が習慣になり今日に至っています。久し振りの発作に整形外科で血液検査を受けましたが、尿酸値は全く正常です。「猛暑で大量の汗をかいて血液が濃くなり、尿酸結晶が足指関節に溜まったのでしょう。水をたくさん飲んで涼くなれば自然に治りますよ」という診察でした。医師の言葉通り秋になると痛みはなくなりました。佐藤先輩直伝の炭粉療法、痛風で苦しんでいる方にお薦めします！

今年は遅霜・長梅雨・猛暑・台風・野生動物食害と佐野川の農家にとって厳しい年でしたが、前向きな気持ちで晴耕雨ネトの生活を続けています。先日 Yahoo! の動画アプリ GYAO! で「種まく旅人～みのりの茶～」が配信されました。茶農家になった頃 YouTube で観た映画で、主人公の若い女性が父の故郷大分県を訪ね、茶農家の祖父が病に倒れた行き掛かりで茶畑を管理する羽目になり、後継ぎに成長するという物語です。作中で描かれる有機栽培の取り組みが就農一年目の苦労と重なり、孫娘ができて宮本茶園と一緒に営みたいというささやかな夢を持つようになりました。LINE つながりの友人たちに鑑賞をお薦めしましたが、私の夢伝わりましたか？

・台風 19 号被災

千葉県を中心に大きな被害を出した 9 月の台風 15 号に引き続き、10 月 12 日台風 19 号が日本に上陸しました。発生直後から猛烈な勢力に発達した台風は東日本を縦断し、各地に甚大な被害をもたらしました。連日マスコミ報道されたように相模原市緑区では大規模な土砂崩れや河川の氾濫があり、尊い人命が失われています。

台風接近に伴い 11 日は朝から大雨でアルバイ

ト先の小学校は登校児童保護者引き渡しで、児童クラブは職員待機になりました。全利用児童が帰宅して 18 時勤務終了、スーパーで数日分の食料を買って込んで遅ればせながら防災準備をしました。12 日早朝より市の防災放送や広報車が避難を呼びかけていましたが、自宅雨戸を閉めて危機感もなくのんびりと連日の農作業で疲れた体を休めていました。台風上陸時刻が近づくにつれ風雨が強まっても、近隣で大災害が起きているという自覚のないまいつも通り就寝したのでした。

13 日朝は台風一過の穏やかな日和、暴風雨の中配達された朝刊やネットニュースを見て台風被災の重大さを実感、最初に頭に浮かんだのは藤野茶業部の茶園被害把握でした。佐野川に向かう道路は側溝からあふれ出た水が流れ冠水箇所もあり、周辺の山はいたる所に大規模崩落があり車両通行できない地区もありました。栃谷・和田・上岩と巡りましたが先人たちがていねいに石を組んで築いた各部員の茶園は崩れた箇所はなく、事務局と木村普及員に状況報告して家に戻りました。自分の目で確認した佐野川は和田地区の被災が深刻で、ネットで発信される情報で自宅からそう遠くない牧野地区では死傷者が出ている事を知りました。



連休明け 15 日からしばらくの間は中央本線・中央高速道が全面不通、山間部生活道路も各所で寸断

され通行止め、津久井の国道・県道は大渋滞でした。自宅が被災し避難所暮らしを強いられた方も多く、今なお不便な日常生活の続く地区が残っています。復興作業に取り組む藤野では地域住民が助け合い、ネットを利用して必要物資や支援ボランティア要請等の情報交換をしています。ピオ市事務局からは参加農家へ炊き出し食材提供や土砂かきだし作業参加の呼びかけがあり、避難所へ食材代わりに佐野川茶を届けさせていただきました。私の安否を気遣いご連絡くださった方々ありがとうございました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

・INCHまつりと成合会

日没が早くなり畑仕事が忙しい秋の季節、佐野川から出る機会が少ない私の楽しみは INCH まつりと成合会です。学大サークル長屋でかけがえのない時間を共に過ごした仲間や先輩・後輩、INCH 活動を通して知り合った方々と旧交を暖められるとても大切な催しです。

運営委員会メールに中込ミ君が「INCH ライブに学大卒の吉本有里というミュージシャンを呼びました」と書き込みました。新聞会の吉本さんはサークル長屋でお付き合いのあった方で、「よいしょバンド」というグループを組み演奏活動をしていました。80 年代の学大社会科学系サークルは、互いの活動や研究テーマを共に学ぶ「解放講座」という自主ゼミを企画していました。各サークルは三里塚闘争、狭山事件や被差別部落、養護学校義務化や障害者差別、光州事件・在日朝鮮人差別や朝鮮大学校との交流等々、学校の授業では教えられなかった様々な社会問題をテーマにレポートや講演会を行っていました。尊敬する北村小夜先輩と出会ったのは特殊教育研究部で企画した講演会でしたし、解放講座で学んだ事は学大卒業後の私の生き方に大きな影響を与えてくれました。

久しぶりに再会した吉本さんはかつての小金井祭ステージと変わらない透き通った歌声でライブを盛り上げ、中込ミ君と 3 人で思い出話に花を咲かせました。学大卒業後は教員にならずプロミュージシャンを目指し、努力して夢をかなえた吉本さんの言葉は駆け出し農家の私を励ましてくれました。特教研仲間に「よいしょバンドの有里ちゃんと再会した！」と写真添付でメールしたところ、「みんな

若い！」と返信がありました。



10 月最終土曜日の夜は日暮里で成合会、今年で 36 回目になりました。成合君は中込メ先輩たちが卒業して部員のなくなった探検部を再建したメンバーの一人で、今は東久留米国際学生宿舎となった雄迎寮に入っていました。当時の雄迎寮は特教研部長の恩田君が寮長で遊びに行く機会が多く、私は寮生の成合君や河口君と親しくなって探検部に掛け持ち入部したのでした。成合君は卒業後寮祭へ向かう道中で交通事故に遭い突然私たちの前からいなくなったのですが、亡くなる前日部室に書き残した「探検部頑張れ」は当時を知る仲間の心に刻まれました。葬儀の翌年から命日に近い 10 月最終土曜日の夜は菩提寺のある日暮里駅に集合して、墓参後に宴会を開くのが恒例になりました。今年は 8 人が集まり親交を深めましたが、冒険探検部廃部が話題になりました。還暦・定年退職を迎える古参部員にとって、寂しさはありますが皆楽天的に受け止めています。木俣師が植物と人々の博物館メルマガ 60 号に書かれた「いずれまた復活すればよいのです」が成合会参加者の願いです。



・秋の茶仕事

昨年雑草に覆い尽くされた再生茶園は、腰痛・痛風という代価を払いましたが除草剤を使うことなく雑草との闘いに勝利することができました。「石の上にも三年」のことわざ通り、努力は必ず報われ

ると確信しています。9 月藤野茶業部会では茶園に与える肥料について話し合わせ、「農協が斡旋する茶配合や菜種粕等有機肥料は高価で、規定通り購入・施肥したのでは利益が出ない」と意見が出されました。木村普及員は「秋肥は 1 反当り 15 kg の窒素が入れば十分です。成分計算し値段を考えると肥料を購入してください」と指導されました。私の春・秋肥料購入代金は、残念ながら足柄茶販売金額を上回って赤字経営です。今年の秋肥は指導を参考に購入、3 週間かけ 6 反の茶園全てに施肥・中耕作業を行いました。

10 月 8 日茶園巡回と製枝講習会、木村普及員より「秋整枝のみでいきましよう」・「秋整枝でここまで刈り込み、春整枝で整え収穫しましよう」・「急がず春整枝だけでよいでしょう」と茶園毎に的確なアドバイスがありました。



併せて第 52 回神奈川県茶園共進会の佐野川地区出品茶園選考があり、上岩で昨年より更新に取り組んでいる私の茶園が出品される事になりました。1 月の第 51 回神奈川県茶業振興大会で小池さんの茶園が 2 等表彰されたので、後に続けるよう木村普及員・大河原部長の指導の下でいねいな整枝作業に取り組みました。出品茶園用に部員・事務局が集めてくれたワラを畝間に敷き詰め、枯れ枝や整枝機械で飛び散った葉を取り除く作業を審査直前まで行いましたが、久しぶりの高校・大学受験をした時のような緊張感を持ちました。11 月 13 日審査が行われ、今は合格発表を待つ受験生の心境です。審

査結果は次号でご報告します。



・雑穀栽培普及会活動

初収穫の小麦は 9 月になって四方津にある JA クレイン大目支店で製粉しうどん粉・パン用粉・フスマに加工、全量土屋商店に卸しました。10 月には津久井在来大豆・借金なし大豆の枝豆を収穫販売、農業所得向上に努めました。1 反全てに作付けした雑穀畑は甲州モロコシを猿軍団に横取りされた以外は順調に生育し、稔りの季節を迎えました。昨年同様お盆過ぎに防鳥ネットを張って雀の襲撃に備えたモチキビは、20mm 網目をすり抜けて侵入する雀軍団の猛攻と刈り取り後に猿軍団の襲撃を受け散々でしたが、1.7kg 収穫できました。隣に植えたモチアワは雀もそれほど食せず、たわわな穂を垂れていたのが昨年以上の収量を期待していました。

10 月 27 日、茶業部員の整枝作業を手伝い上野原で昼食をとっていると、隣畑の方が「猪が入って畑は大変な事になっているぞ」と教えてくれました。午後の整枝作業を終え機械を片付けて雑穀畑に駆け付けると想像以上に酷い状況で、憎き猪軍団は針金で止めていた防護柵扉をこじ開けて畑に侵入したのです。実入りした大豆は食い散らかされ、モチアワは防鳥ネットがズタズタに引き裂かれ一つ残らず穂が無くなっています。



襲撃は 3 日間続き、防護柵扉は太い針金で締め固定し人間も出入りできなくしました。29 日朝田村さんの茶畑に仕掛けられた括り罠に若い猪がかり、仕留められました。ライフル銃で足を砕かれ最期は撲殺されたという猪の屍を見て、中山間地

農業は野生動物と死闘する覚悟がないと続けられないのだと実感しました。猟師さんの括り罠設置を見学しましたが、何故か青春時代に読んだ本多勝一「戦場の村」を思い出し南ベトナム解放民族戦線ゲリラ戦士がアメリカ侵略軍に立ち向かう光景を重ね合わせました。



*興味ある方はヘル宮本までご連絡ください。
Tel : 090-2205-8476 (宮本透)

ちょこっとコラム～日々楽しく暮らしているはこの日常～

みなさんこんにちは。ご無沙汰しておりますはるこです。なんと小菅村に住み始めてもうすぐ13年目を迎えようとしています。「山に住むの?」「田舎暮らし?」「自給自足?」と今までも(なんなら今でも)散々言われ続けておりますが日々楽しくノンストレスでのびのびと過ごしています。

この夏に子を産みまして現在育休の真っ最中なわけですが、連日『お散歩』と称してきのこ採りに出かけています。とは言っても生後数か月の赤ちゃんを抱っこしながらなのでハードな所へは行かず、基本的にのんびり歩きながら採る程度。採れたきのこはご近所の小菅村物産館に出して、この秋だけで1万円を優に超える売り上げがありました。なんとてれてれお散歩しながらおむつ代が稼げてしまったのです。どうだ羨ましかろう。

そうそう、この季節大根や白菜がとても美味しいですね。毎日毎日食べていますがなかなか減りません。なぜって?たくさんいただいているからです。今日も玄関に白菜が2玉。名もわからぬごんぎつねさん(たぶん二軒先のおばさん)にいただきました。小菅のお野菜は基本無農薬栽培なので嬉しい限り。ちなみに今夜は麻婆白菜です。育休中、子育て大変だから…と言われていましたが我が家は常時2オペなので毎日が日曜日みたい。明日はどこへお散歩に行こうかな。

